

中外製薬株式会社 横浜研究拠点プロジェクト
環境影響評価方法書に関する検討事項一覧

この資料は本件に関して、審査会から横浜市に提出される答申の内容を検討するための資料です。これまでの調査審議の内容を確認し、下表の項目・検討事項・内容を元に答申案を作成します。

■ 事業計画について

項目	検討事項	内容
事業計画	緑地について	河川沿いの桜並木の連続性を確保するなど、景観に配慮するとともに、従業員や周辺利用者が緑を身近に感じられる環境の拡充を検討
	建築物の省エネルギー性について	建築物の省エネルギー性能の向上に努め、CO ₂ 排出を抑制
	内水氾濫の対策について	本事業における総合的な対策を準備書に記載
	風環境の変化について	風環境の変化を予測し、その結果に応じて必要な措置を講じるとともに、その内容を周辺住民等へ丁寧に説明

■ 環境影響評価項目について

【工事中及び供用時】

評価項目	検討事項	内容
生物多様性	評価項目選定について	工事の波及影響等による環境影響の不確実性が考えられるため項目を選定し、供用時の環境配慮に活用
	調査範囲について	移動性の高い動物や植物の郷土種の取扱いを考慮し、対象事業実施区域近傍に限らず、広域的な調査範囲を検討
	東側敷地の建築用地（将来）について	アスファルト舗装の上に付加的な配慮を行い、生物の生息空間を確保するよう検討

(裏面に続く)

この資料は、審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることもありますので、取扱にご注意願います。

【工事中】

評価項目	検討事項	内容
廃棄物・建設発生土		
大気質	予測範囲について	西側敷地北側の保育園等に対する影響の程度が分かるように予測範囲を設定
	予測方法について	建設機械の稼働の予測を行う場合、対象事業実施区域内を走行する工事用車両を含めた予測を検討
		建設機械の稼働と対象事業実施区域周辺道路を走行する工事用車両の影響について、単独の予測だけでなく重合した予測を検討
騒音	予測方法について	建設機械の稼働の予測を行う場合、対象事業実施区域内を走行する工事用車両を含めた予測を検討
		建設機械の稼働と対象事業実施区域周辺道路を走行する工事用車両の影響について、単独の予測だけでなく重合した予測を検討
振動		
地域社会 (交通混雑、歩行者の安全)		

【供用時】

評価項目	検討事項	内容
温室効果ガス		
廃棄物・建設発生土		
大気質		
騒音		
振動		
電波障害		
日影		
安全 (火災・爆発、有害物漏洩、動物の逸走)	調査方法について	自社の事例も含めて、幅広く調査
	管理体制について	ハード的な安全管理だけでなく、指揮命令系統を含む危機管理体制を準備書に記載
		想定外の事態が起きた場合でも汚染を生じさせないように講じる対策について、準備書に記載
動物の逸走について	感染した動物及び遺伝子改変された動物両方の観点から、準備書に記載	
地域社会 (交通混雑、歩行者の安全)	歩行者・自転車交通量調査の調査地点について	現状把握のため西側敷地の西側道路に調査地点を設定
景観	視点場について	境界部の景観影響を検討するため、近景の視点場を設定